

ユニシア配合錠 LD ユニシア配合錠 HD

【この薬は？】

販売名	ユニシア配合錠 LD UNISIA Combination Tablets LD	ユニシア配合錠 HD UNISIA Combination Tablets HD
一般名	カンデサルタン シレキセチル Candesartan Cilexetil アムロジピンベシル酸塩 Amlodipine Besilate	
含有量 (1錠中)	カンデサルタン シレキセチル 8 mg およびアムロジピンとして 2.5mg (アムロジピンベシル酸塩 3.47 mg)	カンデサルタン シレキセチル 8 mg およびアムロジピンとして 5mg (アムロジピンベシル酸塩 6.93 mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬とカルシウム拮抗薬と呼ばれる薬を両方含んだ薬です。
- ・アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬は、血管を収縮させて血圧を上昇させる物質の働きを抑えます。カルシウム拮抗薬は、末梢の血管を拡張します。これらの作用で血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

- ・他の高血圧治療薬で治療しても効果が得られない場合に、この薬での治療が開始されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にユニシア配合錠に含まれる成分あるいは他のジヒドロピリジン系薬剤（ニフェジピン、ベニジピン塩酸塩、アゼルニジピンなど）で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・両側性腎動脈狭窄のある人または片腎で腎動脈狭窄のある人
 - ・高カリウム血症のある人
 - ・嚴重な減塩療法中の人
 - ・低ナトリウム血症のある人
 - ・心不全を合併する人
 - ・過去に薬剤で過敏症のあった人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬 [アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）（糖尿病のある人に使用している場合。ただし、他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ユニシア配合錠 LD	ユニシア配合錠 HD
一回量	1錠	1錠
飲む回数	1日1回	

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気が付いた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

ショックを含む著しい血圧低下（からだがだるい、ふらつき、立ちくらみ、力が入らない、めまい、頭が重い、頭の痛み）になったり、反射性頻脈（めまい、胸がドキドキする、胸の痛み、動悸）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の成分であるカンデサルタン シレキセチルは、腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人に、高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人では血液検査がおこなわれることがあります。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、この薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・グレープフルーツジュースはこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・この薬の成分であるカンデサルタン シレキセチルにより、急激な血圧の低下（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、気を失う）があらわれることがあるので、そのような場合には、医師に連絡してください。特に血液透析中の人、嚴重な減塩療法中の人、利尿剤を使っている人（とくに利尿剤を使い始めの人）、低ナトリウム血症のある人、腎臓に障害がある人、心不全の人では十分注意してください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
- ・授乳している人は、医師に相談してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。









重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
高カリウム血症 こうかりうむけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
房室ブロック ぼうしつぷろっく	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、疲れやすい、けいれん、体のしびれ、体に力が入らない、脱力感、むくみ、体がだるい、体がかゆくなる、力が入らない、急激に体重が増える
頭部	めまい、意識の消失、気を失う、立ちくらみ、意識の低下、短時間、意識を失い倒れる、急な意識の低下
顔面	顔面蒼白(そうはく)、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、鼻血、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
口や喉	咳、喉がつまる感じ、声が出にくい、歯ぐきからの出血、喉の痛み、吐き気、嘔吐、血を吐く
胸部	息切れ、息苦しい
腹部	お腹がすく、お腹が張る、食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、脈が遅くなる、手足のふるえ、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み
便	下痢、便に血が混じる(鮮紅色～暗赤色または黒色)
尿	尿が赤褐色になる、尿量が減る、尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	ユニシア配合錠 LD	ユニシア配合錠 HD
PTP シート	 <p>表面</p>	 <p>表面</p>
	 <p>裏面</p>	 <p>裏面</p>
形状	 <p>素錠</p> 	 <p>素錠</p> 
長径	8.6mm	8.6mm

短径	5.1mm	5.1mm
厚さ	3.0mm	3.0mm
重量	130mg	130mg
色	淡黄色	淡赤色
識別コード	Ⓐ272	Ⓐ273

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ユニシア配合錠 LD	ユニシア配合錠 HD
有効成分	カンデサルタン シレキセチル、アムロジピンベシル酸塩	
添加剤	D-マンニトール、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール 6000、黄色三二酸化鉄、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム	D-マンニトール、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール 6000、三二酸化鉄、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：武田テバ薬品株式会社 (<https://www.takeda-teva.com>)

武田テバ DI センター

TEL : 0120-923-093

受付時間：9：00～17：30（土日祝日・弊社休業日を除く）